

中斎塾 東京フォーラム
平成 28 年度 第八回講話

平成 28 年 9 月 10 日
於 湯島聖堂

おはようございます。先ほど猪瀬理事長が言われたとおりでして、8 月 20 日に太田学習文化センターで 10 周年記念講演会を開催させていただきました。東京フォーラムからも多数おいでいただき有難うございました。色々声をかけていただいて色々な方が来場して下さいまして、感謝いたしております。

今日の紹介書籍、何度も宇野千代さんのことを言っていますが、この人は読めば読むほど味があって良いなと思っています。それから松下幸之助さんは、古くなればなるほどまた光が出ていますし、手に入りやすい。先にちょっと御紹介をしておきます。

紹介書籍

『幸福は幸福を呼ぶ』 宇野千代著 集英社文庫
『物の見方 考え方』 松下幸之助著 PHP 文庫

宇野千代さんの本を何故また回すかといいますと、渋沢栄一さんのお話と似通った文章があったので、もう一度お返しをしようと思いました。

以前に宇野千代さんを申し上げた時は、お風呂の中に鏡がある。鏡の前に立って、何かヴィーナスみたいと自分の体を見て褒めた。ちゃんとおまけがついていて、だんだん目もよく見えなくなり、歳を取るのは良いことだと書いてありました。今回、書いてあるのをみると「どうしてそんなに若いのですか」と聞かれる。それを聞かれると自慢ではない。それで私はそれをお世辞と思わないと書いてある。

良いなと思うことは、忙しくしていれば忙しくしているだけ、歳ことは殆ど氣にならないし、氣にしないている。ところが歳のことを氣にする人は顔に皺が多くなる。自分の体験談で皺が増えると書いてあるので、物の考え方・心の置き方が宇野千代さんは前向きで良いなと思います。ただこの宇野千代さんにしても、小説を書きながら途中で書けなく

なったことがある。どうにも書けないで困っているときに中村天風先生に教わって、先生についていたら、ある日突然書けるようになり、それは心の持ちようしただでそうなるのだという話です。宇野千代さんは、ちょっと前に生きていた人だという気がしません。

読みたくなるような女性の本って結構多いですね。男性が書いた本はストーリーで読みたくなるけれど、女性の場合は内面的なものが素晴らしいですね。男性の内面的な考察に関して良いと思うことは、だいたい自分の言葉で書いてあるし、言っている。人様の話の受け売りではなくて、自分の体験談が出るのが良いと思う。

松下幸之助さんは、自分のことでしょうね。体験はとても大切に、失敗や成功これは体験として噛みしめることが肝心だと書いています。松下幸之助は丁稚から始まって現場で作業をしていたら、優秀だから社員にして事務をさせようとなり喜んでいました。現場作業から事務員になったら、字がどうにも下手で読めないということで、また現場に戻り、それから二股ソケットを考案していったとありました。体験を体験として噛みしめる。失敗を失敗として捉え、成功を成功として捉えた時に噛みしめることが必要だということです。

今日は論語素読を聞きつつ考えました。今回は「豈匹夫匹婦の諒を為し、自ら溝瀆に経れて、之を知らるること莫きが若くならんや」という文章がとても気になりました。

「匹夫匹婦の諒を為し」卑しいと捉えるよりは普通の庶民の感覚で良いと思います。普通の庶民は小さい正義感で行動をする。何か失敗をした時に、自分の判断基準で自殺をし保険金が入って、その保険金で今ある借金をどうにかしようとする人は、けっこう多いです。孔子の感覚でいけば「匹夫匹婦の諒を為し」小さい自分の判断基準、正義感で首つり自殺をして溝に捨てられる。最終的には、もうそういう人は「之を知らるること莫きが若くならんや」と名も知られなくなるということが書いてある。

一昨日、昔働いていた人が独立をして、それなりの仕事をやっていたのですが1か月半ほど前に自殺をしていたという報告が入りました。

自殺する前に何度も私に会いたいという連絡があり、会って話をしました。それはどうしても昔、一生懸命に仕事をして、それが自分の人生の絶頂でしたと言います。独立をした頃は一生懸命やって頑張れたけれども、会社というものは、やっぱり事志と違うことが多くて、その会社をたたんでしまった。その後は転々として私のところに来た時はこういう言い方をしていました。やっぱりどこの会社に行っても元常務だと言うと、そんな偉い人はちょっと採用できませんと断られ続けていました。もう一度、雇ってもらえませんかと私に頼みに来た。会った時に「あなたの辞め方を考えてごらん。あれだけ啖呵を切って、会社もあなたの後始末をかなりして、不義理を全部きれいにしてあげた。それで、あなた

は独立した。順調にいつている時は何も言わなかったけれども、駄目になってから、そう言うのは良くない」と答えたことを覚えています。

本をお返ししていますが、これは体験を体験として噛みしめているかどうかポイントです。なるほどと思ったのが、本人の判断基準がだいぶ違う。なぜ違うかといいますと、私はどこかに勤めたいと思っても、元常務という肩書が邪魔をして勤められないということだった。それで私の関係している会社を紹介しました。その会社は、運転手さんでよければということで見習いをして貰いました。

その社長が面接担当者に、あなたの判断で良いと思えば採用し、悪いと思ったら不採用にして構わないと指示をしました。面接担当者は今までの経緯も知ってはいましたけれども、引っかけたのは、面接の時に下をむいて「私ウツなんです。お金はこれだけ欲しい。何とか頑張ります。これだけやります」と、本人から出てくる話は、マイナスの話ばかりだったそうです。私を雇うと、これだけ悪いことが起こるということを一所懸命に面接担当者に言っていた。本人はそういうつもりではなく「私は頑張ります」と言っているけれども、聞く人間は雇ったら面倒くさいことが起こるだろうな。でもこれだけ頑張ると言っているから、もしかしてうちの会社に入って他の人の仕事をみれば頑張ろうという気になって頑張れるかもしれない。昔やったような具合でやれば、たればということで見習いをして貰いました。「まずは見習いでやってみてください」という話になりましたけれども、1ヶ月ぐらいで「辞めさせてください」と言って辞めた。その理由は「この見習いのお給料では、とても生活ができません。私はこれだけの借金があるので、借金を返すためには、とてもこの給料では駄目です」と。でも運送屋ですから、見習いの中に大型免許を取って大型の車を運転すれば、これだけの給料になります。普通の免許証だけでは、これだけの金額になります。あなたは見習いで物を教わる身分だから、それよりは少なくてもこれだけですと納得して入社したけれども1ヶ月間の見習いの給料を見て、とてもこれでは無理だから辞めます。あとは、またあちこちに声をかけて歩いているとは聞いていました。本人は元常務の肩書が邪魔をして勤められないと自分の判断基準で思っていた。ところが周りの人達は過去の話は気にしていなく、現在、目の前にいるその人を判断して現時点でやれる仕事は、この人は何があるのかという判断をする。だから価値感覚というか、判断基準が全然違うということに本人は気が付かないでいた。

私自身で思うことは、失敗の体験、成功の体験、色々ありますけれども、それをよく寝る時に噛みしめて味わい、自分自身に活かさなければいけないと、つくづく思いました。活かさなければ、自分で自分の命を縮めることになる。それも見栄を張っていればいるほど、虚勢を張っていればいるほど、自分で自分の命を縮めることに直結します。

私は会社をつくって四十数年経ちました。その間に独立をした人は十数人います。自殺をした人が二人になってしまった。共通点がありましてね、何回か言いましたけど独立した人は最初の勢いのまま続いています。潰れない。それから自殺した人は、やっぱり見栄

がある。実際とのギャップに苛まれて、結果としてその道を選んでいくと感じました。自分で商売をやっておられる方は、どうぞ正しい判断基準というのかな、自分の置かれている状況を客観的に見る目を持つ必要があるし、周りの人からもきちんとしたアドバイスをもらえる。そういう人間関係を作っておくと良いと思っています。それがこの論語素読を聞きつつ読みつつ、そう感じていました。

この間、太田で行われた記念講演会の写真をいただいたから回しましょう。小此木さん有難うございます。綺麗に撮っているね。どうしてこんなに綺麗に撮れるんだろう。でも、たくさん写して、その中で良いのを選びました？

小此木幹事—そうです。ぼけているのもありましたので…

私もやっぱり猫背になっている。ピンとして立っているつもりだけれど猫背になっている。きちんと写りますね。人に言うだけでは駄目ですね。最近、木内顧問に2回に1回は、背中、背筋、歩く時はこうしたほうが良いと言いますと「家内と同じことを言う」と文句を言っていますが、やっぱり加齢の具合はあるみたいです。

写真家もたくさん写して、その中でこれは良いというのが、ほんの1枚か2枚とよく言います。

話がへんなところに飛びますけれども、今、中江藤樹の本を書こうと思って、集めた本を読んでいる最中ですが、その中でこんなことがありました。中江藤樹は、人に頼まれると字を書いてあげるそうです。どこまで本当の話か分からないけど、そう書いてあります。

蕎麦屋さんが屋号を書いてくれと頼んだら受けてくれて、だいぶ時間が経って尋ねたら出来ていない。また1ヶ月ぐらい経って聞くと、今度は出来ていたので貰って、素晴らしいので外に飾っていたら、大名行列が通った時に「この書は素晴らしいから欲しい」と言われました。蕎麦屋のおやじは考えて、どうせタダで貰った物だから、また先生に頼めば簡単に書いてくれると思ったから軽く差し上げた。それでまた頼みに行きました。「また一枚書いてくれますか」と頼みますと「いいよ、分かった。だけれども、ちょっと来てごらんさい」と呼んで、蕎麦屋のおやじが何だろうと思いついて行ったら、柳行李を開けて見せた。失敗して反故になっている紙が山のようにあった。写真と同じですね。いっぱい写真を撮った中の一枚。たくさん書いた中で、これなら人に出せると思った物、努力に努力を重ねて何ヶ月もかけて必死に書いた物、やっと出来た一枚をあげた。一枚さらさらと書いて渡したのではない。それを見て蕎麦屋の親父がまた書いてもらったかどうかは書かれていませんでしたが、人前で見せる物は目に見えないところで、どれだけ努力しているかを想像する能力は必要だと感じます。今、写真を見て中江藤樹が頭に浮かんだので脱線をして申し上げました。

私も人から何か頼まれて一所懸命に何かしますでしょう。頼んだ方は、あまり気にしませんよね。今度、木内さんに言おう。なぜ木内さんかと言えば、いただいた写真の中で木内さんが連れてきた女性が写っていました。ロンドンから来た女性記者さんです。木内さんから、群馬が初めてなので連れて行こうと思いますという連絡は前に戴いたのですが、前日になって「連れて行く女性記者さんは群馬が初めての人だから泊ませようと思うので、群馬のおもてなしのできる良い宿を見つけて下さい。なおかつ値段は安く」と、メールがきました。

会場からそんな遠くない場所で、おもてなしの温泉宿で日本の心が伝わる群馬の良き宿を考えますが、人に頼むにしても注文が難しい。だからその日は、私の予定をキャンセルして宿を探しました。太田にはホテルや宿はありますが、そこへ連れて行ったら木内さんはがっかりします。観光旅館、観光ホテルは色々あるけど、そういうとこに連れて行っても、日本のおもてなしの心を感じとれる宿ではない。やむなく赤城山の宿を一軒ずつたずね歩き、自分が前に泊まった時はどうだったかと思いながら探しました。やっと見つけてお連れすることができました。でもその宿は大広間で皆さん食事をしていただくと言います。話を聞いて大広間をチェックすると1人で来た人は、端っこでぼつんと一人で座るとのこと。それでは、おもてなしにならないので困ったなと思って、色々な人に相談しました。最終的に猪瀬理事長の奥さんが一緒に泊まってくれました。おかげで一人ぼつんと食事をさせなくて済みました。色々そういう気配りをした結果、来月の東京フォーラムには母親を連れておじゃまして良いでしょうかと言ってきました。木内さんは軽く「宿を取ってくれて有難う」で終わっているから、その女性が木内さんに何か言った後、あの時は急で大変だったから、あまりギリギリで人に頼むものではありませんよと釘をさそうと思っています。これは自分もそうだなと思っています。振り返ってみれば、けっこう無茶言ったなというのが、かなりあります。

それでその女性記者さんと話をしたら「木内さんは変わった方ですね」と。何故と聞いたら、自宅でバーベキューをやるからいらっしやいと誘われたので「兄と一緒にいいですか」と言ったら、「どうぞ」と言われたので伺ったら、木内さんの家族の方々がバーベキューの周りできょとんとしていて、話が合わない。よく話を聞いてみたら家族の方は「アフリカで育った兄弟を呼んである」と、それしか情報がなかった。まずアフリカで育っているから日本語が出来ないだろうな、電車に乗って来るから、まあまあ年齢にはなっているだろうと推測するしかなかった。実際は「あれ？日本人が来た」と家族の方々は思った。それは当たり前で、日本生まれのアフリカ育ちということで、今はロンドンと日本を往復し、インタビュー専門の仕事をしているので、結構そつなくお喋りもできるし、受け答えもそつがない。一時、違和感が広がったけれど、だんだん経緯を聞いて分かったということでした。木内さんは相手に何かを紹介する時に、情報が不足する人だというのは今回よく覚えさせられました。今回もご迷惑かかったんでしょうねと言うから、「はい」ということで、ですから人の振り見て我が振り直せです。それは最近よく思います。

でも余計な忠告も結構ある。自分自身でいうと、今年の3月18日から自転車に乗り始めて、それを葉書に書いて出した。会う人、会う人、自転車は転ぶから気をつけなさいと言います。どうやって気をつけろとは一切言わないけれど、気をつけろ、注意しろと言います。久しぶりに会った人にも「久しぶりです」と言うと、自転車は大丈夫ですか？転んだ、転ばないとかの話です。

谷口副代表幹事ー谷垣さんが転んだから、多分それだと思うんです。

そう皆さん、その話が必ずくっついてきます。

谷口副代表幹事ー20年以上乗っていても、転ぶから余計みなさん心配されたんです。

確かに危ないですよ。今朝はまだ乗っておりませんが毎日乗っております。ということで、注意とかアドバイスをする時には、もうちょっと具体的に何か良いアドバイスがあればいいと思います。自転車に関しては、具体的に良いアドバイスがあったのは1つだけでした。私より年上の方が競輪選手みたいな足腰をしています。この間会った時に「私は貴方の脚を目指している」と言ったら、「そんなの無理だよ。私の脚と同じだなんて、とんでもないこと言うね」と。でも私の脚を触ったら「これは凄い。まだ半年経ってないのにね」と。ちょうど5ヵ月目でしたけれど、ここまで足を鍛えたのならば、その次はこうしたら良い、ああしたら良いと、どんどん具体的なアドバイスが出てきました。現実に行っている人は、きちんとアドバイスをしてくれると思いました。

恒例の質問

- ・夏はまだ続いていますけれど、今年の夏は良い日が続いていると実感のある方、どうでしょうか。
- ・今年の夏、嘘は比較的つかなかった。
- ・一夏、有難うと言ひ、有難うと言われることが多かった。
理事長は手を上げなかったな。有難うと言われる人生いっぱい送っていると思いますけれどね。
- ・一夏どうでしょう。暑いけれどもさぼらずに健康法をやっている。

・昨夜寝る時に、明日以降のことを過去形でイメージして昨晚眠れた方。
御一人ですから、何か一言。

比田井副理事長—今日はこういう日であってほしいな、こうなって欲しいなと願望が入りますね。こう生きるべきだとかね。

こうなって欲しいな、良かったなと出れば、やればいいんです。願望が達成できて良かったなとそこまでいけば良い。

昨夜、鉄砲洲神社で話をさせていただきましたが、その国々の特徴を見ようという話をしました。その時に願望の話と現実の話では、大きい溝がある。

例えば、日本は官僚が国を動かしているという抜き差しならぬ構図がある。アメリカだったら 1%と 99%の構図がある。習近平さんの後ろにいる一握りの年寄りが国を動かしている構図がある。習近平さんがしくじったら、すぐに首を飛ばして他の人に据えかえるという図式になっている。その国その国の要根といいますか、どこに根っこがあるかというのを見る習慣をつけていると、私はとても良い人生になっていくと思います。

その時に願望はこうしたいと、こうなって欲しい、なかなかそこまでいかないでも、なってよかったねと思えればよいでしょう。

日本でいけば、官僚の構図が崩れて良かったとか。最近ヒラリーさんとトランプさんの戦いは 1 対 99 の戦いだと、そういう言い方よくしますね。ヒラリーさんは 1%を代表し 99%はトランプさんが代表しているという構図で報道がされています。どんどん変動していると思います。

日本の場合はアベノミクスの話が出てきて、マイナス金利がさらにまた進むようなアドバルーンを上げています。政治家が自分の仕事をやらないから、官僚が一所懸命に頑張っていて、頑張れば頑張るほど悪い方向に日本の国を進めていくと見えます。それはこうあってほしいと思うと、他力願望になってくる。他力願望も突っ込んでいけば、また違う意味が出てきますが、出来ればこうあって欲しいが出来た。良かったというところまで、ぜひどうぞイメージしてください。

比田井副理事長—難しいですね。

難しいです。岩盤規制を取っ払うために戦略特区ということが始まっています。戦略特区で 1%対 99%の構図を日本に結果として持ってくることになると思います。岩盤規制は日本の場合は、やっぱり黒船がいるのかもしれない。そうすると今の北朝鮮の動き方が黒船とは言わないけれど、黒船のようなショックを日本人に与えるんじゃないかな。それが近づいているなど強く思います。稲田防衛大臣が、核兵器の小型化、弾頭化の実現に至って

いる可能性も否定できない。もう既にノドンかな、日本全土を抑えられる。北朝鮮は本当に全部できあがっているかもしれない。だからスイッチを押したら、ノドンが飛んでくるという可能性は否定できない状況みたいなことを言っています。普通の政治家のお喋りでなくて、あのポジションに就いているから、ちょっと違うだろうと思います。

谷口副代表幹事—さっきちょっと出た戦略特区の話ですが、戦略特区は利権絡みで特定のところだけで、手を上げてどこにでもやらせるわけではなく、結局ここでやらせる。この利権と繋がるとしか私には見えないんですけど、塾長はどう思われていますか。

それは当然、利権漁りでやっています。ただ利権漁りが、それはどこら辺で見えていますか？国内、国外。目の前に見える利権で潤う人達と、その後ろにいる人達で違います。

谷口副代表幹事—国外もありますけれど、国内で見た時に色々な特区同士でスタートさせている政治家絡みの後ろで、「有難うございます、ここでやってくれたら良いことになります」みたいなところが、けっこう多いので。

日本の特区は、そういうことばかりだと思います。

谷口副代表幹事—あの特区は本当に良くしようとしているのか。

良くしようとしているわけない。特定の人達を潤せるためにやっている。ただ後ろにいる人達の思いが透けて見えてくるという気がします。

清水会員—その後ろにいるものは？

グローバリズムという感覚です。グローバリズムというのは、自分たちのルールで自分達がやりやすいように、儲けやすいように、さっきの1%対99%の図式を世界各国に広げようというのがグローバリズムであろうし、アメリカ政府を動かしている後ろの人達ということだと思って良いでしょう。それが日本にも触手を伸ばしている。特区というスタイルを通じて吸い上げの仕組みを作っているという感じがしているということです。

もう完全に国は超えていると思います。何度も申し上げますが、文明が数千年に一回の転換期だから国が新しく生まれたり、国が無くなったりということは、ごく当たり前の時期。余計にグローバリズムが進んでいく。国、国境なんてまるっきり関係ないところにいると思います。

清水会員一塾長がおっしゃるように、今の流れが東洋にきている。

グローバリズムは西洋文明の中から発生しています。文明が転落衰退していくときの大きな節目になるんだと思います。ちょっと調べると今の話が文明法則史学という本にけっこう書いてあります。

・今年の夏は、自分磨きをよくやったなと思う方どうでしょう。今度は言いかたを変えて、周りにあの人は自分磨きをよくやっていると思う人が近くにいる人。

他人を見る目は客観的に公平にして、自分自身は普通甘くするんですけど、からい人が多いね。

前半の締めくくりとしては、忙しい人ほど歳を忘れるし、周りからはとても若くみられる。それで「お若いですね」と言われて「若くみえるでしょう」と自慢する宇野千代さん。これは良いなと思う。私は来年が70歳になりますから「お若いですね」と言われたら、「いくつに見える」と聞かないで「若いんです」と言っておこうと思います。

基本哲学

<足るを知る>

前回、ホセ・ムヒカさんのことを申し上げたので覚えているかもしれませんが、ああいう感覚の方が世の中には沢山いるんだと思います。先程お話しした女性記者さん、今はムヒカさんに独占インタビューをする仕事を頼まれているそうです。

ムヒカさんの言葉で良いなと思うのは、何もあげるものは無くても、あげるものが何かはある。あれは日本人でなければ分からない世界だと思えます。

特に蟻の話は色々な雑誌や本が出たけれども、詳しくはあまり書いてなかった。ネットでも見たけれど見当たらなかった。それで女性記者さんが言うには、西洋の人は蟻が動いているのを見て、話しかけるということはマイナスの感覚しか出ない。人間の言葉を理解しない蟻に対してぶつぶつ話しかける程この人は気が狂いかけてきたと、マイナスの話でしか蟻を捉えない。でも東洋の人は、あそこから希望を見出すということは、西洋の人とはまるっきり違う考え方だということです。

ムヒカさんは「足るを知る」という部分が進んでいるなと感じました。体験の中から生まれた「足るを知る」考え方・行動は素晴らしいと感じます。

我々も自分の身の回りの中で、何か「足るを知る」というものを、ほんの小さなものでよいから日々見つけられると良いなと思います。

誰かに何かあげられれば、良いですね。一番はやっぱ笑顔があげられれば良いなど特に思います。笑顔になればなるほど皺が深まるという話もあるので、なかなか難しいですね。皺を気にしなければいいんだけど。

論語の視点

< 憲問 第十四 >

【一八】子貢曰く、管仲は仁者に非ざるか。桓公 公子糾を殺すに、死すること能わず。又之を相くと。子曰く、管仲は桓公を相け、諸侯に覇たらしめ、天下を一匡す。民 今に到るまで其の賜を受く。管仲 微かりせば、吾 其れ被髪左衽せん。豈 匹夫匹婦の諒を為し、自ら溝瀆に経れて、之を知らるること莫きが若くならんやと。

「天下を一匡す」か。「匡」は正す、改革。やはり人の名前は、人生に相当大きな影響を及ぼすと思います。この一匡の「匡」という字は、二松学舎大学の中興の祖といわれている浦野匡彦先生がこの字です。浦野先生の一生は改革に次ぐ改革をしたと感じますので、革命ではなく改革です。だから文字とは調べれば調べるほど、その人の人生に影響を与えると、ここでも感じました。

やっぱり「子貢曰く」という時、まずちょっと身構えます。頭の中を回転させて何を言いたいんだろうと考えます。

口八丁手八丁の子貢が、管仲は徳の人ではないじゃないですかと。桓公が糾を殺す。桓公の父親・襄公が亡くなった時に、糾と小白という兄弟が外国にいた。父親が亡くなったので位を継ごうと思いきや早く帰ってきた小白が力を持った。それで弟の糾を殺して桓公となった。こういう状況で公子糾と共に死なないで、なおかつ「又之を相く」宰相になり、なぜ桓公を助けたのか。

「子曰く、管仲は桓公を相け、諸侯に覇たらしめ、天下を一匡す」孔子が答えるには、天下を改革して素晴らしい時代を築いたから、これは死なないでよかった。孔子は褒めたりくさしたりしていますが、ここは褒めています。その恩恵で「民 今に到るまで其の賜を受く」中国の民衆はきちんと髪を結び、冠をきちんと付けている素晴らしい民族だ。子路が死ぬ時は、冠を正して死んだという話もあります。もしも管仲がいなかったら野蛮人と同じ風俗に我々もさせられていたのではないか。

被髪は、映画「超高速！参勤交代」を考えてみてください。その中でお武家様が井戸に落ち濡れ鼠のように這い上がってきた時、髪がぐしゃぐしゃになって幽霊みたいな感じが出てきました。そういうふうな「被髪左衽せん」襟は左前に合わせる。考えたら管仲の功

績は大なるものがあるから、あまり管仲を批判してはいけないと孔子が答えている。ここは他の人が聞いたら、孔子はまた違う答えをするなど思いました。

「匹夫匹婦の諒を為し」は先ほど申しました。自分の小さな判断、正義感で自分が正しいと思って行動をする。それが自分の命を縮める。自分で自殺をしてしまうところまで自分の正義感で行動していくと、これは他の人にも迷惑をかけるから、時々自分の正義感や判断基準はこれでいいのかなと踏みとどまって、考える習慣をつくりなさいとここは読んだほうが良いと思います。

【一九】公叔文子の臣 大夫 僕、文子と同じく諸を公に升らしむ。子 之を聞きて曰く、以て文と為すべしと。

これは今の日本の国でいえば安倍さん。時事評論とも絡めて話しますと、今日の読売新聞を見ました。自民党は8日、総裁任期を検討する組織を作った。原則、総裁任期は2期6年だが、これを連続で3期9年まで総理大臣の任期を延ばすという検討組織を設置したという記事です。

今の安倍内閣は大臣をどんどん作っていますが、「公叔文子の臣大夫僕」東京都に小池さんが自民党を造反した形で出て、都議会を動かすようになった。この文章からみると、小池さんが自分の給料を半分に減らすと言う。そうすると都会議員は反対するだろうけれど、その中でも誰か1人ぐらいは「素晴らしい案だ」とか言って、周りを焚き付け一緒に同調しようという動きが仮に出てきたとする。都会議員の中で優秀な人がいる。これは是非国政に送るべきだと内閣総理大臣に進言をして官房長官あたりが、この人は内閣改造の時に入れようと言って、都議会議員を急に引っこ抜いて大臣にした。この場合は外務大臣か。ですからここは都会議員を引き抜いて外務大臣に据えたと、この文章は読めば良いでしょう。「文子と同じく諸を公に升らしむ」公にというのは、朝廷にのぼらせて大夫としたから、自分の部下で素晴らしいと思う者がいたので、自分と同じ身分までのぼらせた。推薦して昇進させたということです。孔子がこれを聞いて、公叔文子は素晴らしい人物を推薦し、その地位に就けるような動きをした、とても素晴らしい人物だ。「文子」という諡を貰ってもこれはふさわしい人物だと孔子は評価をしたと、ここは読めば良いでしょう。

現代に置き換えたら、渋沢栄一さんは、井上馨はこれと同じことをしていると言っています。明治維新の時、陸奥宗光は北海道の獄中でした。井上馨が北海道視察の時「あの人間は素晴らしい人間だから恩赦すべし」と助け出した。助け出された後、陸奥宗光は外務大臣まで昇進していった。井上馨は人を見抜いて上にあげていくことをよくやった。

明治維新の志士達、特に三傑といわれた人は、次から次に周りを推薦していたとのこと。現在の政界は推薦ではないですね。持ち回り制ですね。総裁任期に関しては、こう

ということが透けて見える。

今日の読売新聞を見ると、小池劇場も待機児童解消について「保育定員増5000人上積み」をするとか書いています。これもパフォーマンスですが、パフォーマンスでも良いことをやっていたら良いと思います。

今日の新聞は北朝鮮の核実験についてばかり。これはポイントだなと思うものは、大きい見出しのところに書いてなく、下の方にちょっと書いてある。核ミサイルがもたらす脅威については、もうアメリカ本土に届くから、日本はいつやられてもおかしくない状況になった。韓国もアメリカも脅威にさらされて大変です。新聞記事は、これから大幅な作戦計画を練り直す必要があるということが、小さくちょっと出ています。

それから中国の思惑では、北朝鮮を潰してしまったら自分の体制が崩壊するジレンマがあるので北朝鮮に強く言えない。チベットやウイグルの独立問題がある。みなポイントになる物は小さくちょこっとしか書かない。何でこういうことをするのか。それは、それぞれの国に新聞社が氣を遣っている。

小池さんが都知事に受かった時、新聞社でいけば、あの新聞社は小池さん圧勝とか、違う新聞社は大差でとか書いてある。他は小池さんが都知事にとか色々な表現で書いてある。

ぜひ色々な仕掛けを見つけてください。有難うございました。